

# 一貫プラン・探究的な学習 構想図・年間指導計画・単元指導計画について（案）

## 手順・考え方について

教養豊かで品格のある人間形成を目指し、社会における規律・規範を重んじ、自己抑制力とそれを支える倫理観・道徳観をもち、自分自身について考え、常に自己変革を図っていく資質と能力を育てる。また、社会の一員として自立し、社会に積極的に関わるために、**自らの社会的役割を自覚して発信・行動し、社会の発展に貢献しようとする**資質と能力を育てる。

- **市民科の目標を踏まえ**、一貫プラン・探究的な学習を進めていく。
- 手順については、以下の1から3の流れに沿って作成する。※例示は様式及び内容の参考。各学校の実情によって内容を加えたり、補助資料を増やしたりしてよい。
- 作成の際は、「各中学校区で目指す児童・生徒像」を校区で共有すること、「**課題設定**」「**情報の収集**」「**整理・分析**」「**アクション**」の品川探究サイクル（仮）を発展的に繰り返していくことができるように学習内容や時間数を検討すること、授業実施中、実施後などに振り返りを行い、柔軟な対応や次年度に向けた改善を図ることなどに留意する。
- 市民科学習や各教科で習得した資質・能力や学習の基盤となる言語能力・情報活用能力を生かす。また、探究的な学習の成果（達成感や自信）を市民科学習や各教科での学習意欲につなげる。
- 言語能力については、他者との対話、情報を整理・分析し自分の考えをまとめ・発表する場面など協働的な学習場面で活用する。
- 情報活用能力については、豊かな体験によるリアルな情報、身近（地域等）な多様な立場の人からの情報、本・インターネット・取材（地域以外）による情報、これまでの経験や学びからの情報、各教科等で習得した資質・能力の活用など、様々な場面で活用する。

## 1 構想図について

- 構想図の作成…以下の順に沿って構想図を作成する。
  - ① 品川区の教育目標、教育振興基本計画、区立学校教育要領、市民科で育成する資質と能力や各学校の教育目標、特色、地域の特性を基に、中学校で目指す児童・生徒像、各中学校区のテーマを設定する。
  - ② 自校の教育目標、自校の特色、地域の特性や自校の既存の取組やCSの強みなどから、各学校におけるテーマや内容を設定する。
  - ③ 構想図を基に、年間指導計画、単元指導計画を作成する。※各中学校区で目指す児童・生徒像については、各中学校区で協議して決定する。中学校区のテーマは各中学校区で目指す児童・生徒像につながるよう設定する。※各学校におけるテーマや内容は、各中学校区で設定した児童・生徒像およびテーマに基づき各学校で決定し、対象学年を通して系統的に指導できるようにする。※1つのテーマについて、複数の内容を設定することも考えられるが、**品川探究サイクル（仮）を発展的に繰り返していくことができるように留意**（内容、時間数等）する。

## 2 年間指導計画について

- 年間指導計画の作成  
中学校区のテーマ、学校のテーマ、取組の柱、育成する資質と能力、各学年の学習内容について必ず記載する。
- 留意点（カリキュラム・マネジメントや効果的な指導の視点）  
※各教科の学習内容との関連を図るとともに、各中学校区で目指す児童・生徒像を意識した教科横断的な視点をもってカリキュラム・マネジメントを行う。その際、学習の基盤となる言語能力・情報活用能力の活用の視点をもつ。  
※子どもの学習経験への配慮や、季節・行事等適切な活動時期を生かす視点をもつ。  
※地域や外部人材の活用等を意識し、その際学校地域COとの連携を図る。  
※児童・生徒が自分の取組や学習の積み重ね、学びの成果を確認したり振り返ったりできるよう、発表や体験活動、振り返りの工夫、ポートフォリオ等による学びの成果の見える化を図る活動などを取り入れるようにする。

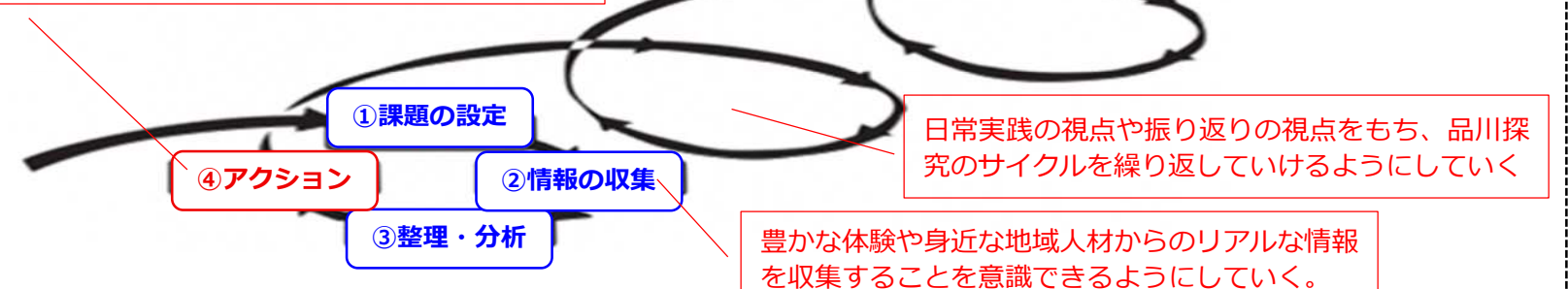
## 3 単元指導計画について

- 単元指導計画の作成  
以下の順に沿って、学年ごとの単元指導計画を作成する。
  - ① 自校の構想図を出発点として、児童・生徒の実態、学校・地域・教師の願い、教材の特性等を踏まえながら、中心となる活動をデザインする。
  - ② 授業時数、学習環境（地域、CS）、学習形態（学級・学年・異学年、個人・グループ・全体等）、指導体制、各教科等との関連などの視点から単元構成の実現性を検討する。
  - ③ 単元計画を作成する。  
…対象学年・単元名、単元の目標、育成する資質と能力、単元について（児童・生徒の実態、学校・地域・教師の願い、教材の特性）、時間数・学習活動・指導上の留意点等を明記する。
  - ④ 授業実践を通して、児童・生徒の状況に応じて柔軟に単元指導計画を修正する。
  - ⑤ 授業の振り返りを行い、年間指導計画および単元指導計画の見直し・改善を図る。※児童・生徒の興味や疑問を重視し、創意工夫を生かした学習活動の充実を図り、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。  
※学習活動・指導上の留意点については、単元を通して一つ作成することや、内容などのまとまりで複数作成してもよい。

### 【品川探究サイクル（仮）】

令和8年度の一貫プラン・探究的な学習については、品川探究サイクル（仮）に基づいて授業を進めていく

まとめ・表現のほか、地域や企業へのアクションを行う（例えば地域貢献の取組や企業への提案など）ことを意識できるようにしていく。



※学習の過程を固定的に捉える必要はない。物事の本質を見極めようとするとき、活動の順序が入れ替わったり、ある活動が重点的に行われたりすることは起こり得る。